



2022年2月10日

各位

会社名 兼 房 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 渡 邊 将 人
 (コード番号 5984 東証・名証第2部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 佐 築 賢 治
 (TEL. 0587-95-2821)

中期経営計画（2020年度～2022年度）の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月に2020年度から始まる中期経営計画を策定しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による事業環境の激変により公表を1年間見送り、2021年3月に当時の状況に即した内容への見直しを行った上で開示いたしました。

今回、昨年見直しを行った数値目標を1年前倒しで達成できる見込みが立ち、新たな目標の設定を行ったこと、および重点戦略に一部修正事項が発生したことから、その内容を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の概要【修正なし】

DX（デジタルトランスフォーメーション）時代を見据え、工業用機械刃物メーカーである当社においても、IoTやAIなどのデジタル技術を活用した生産性向上、業務効率化を進めてまいります。また、中期ビジョンとして「デジタルカルチャーの変革による企業体質強化」を掲げ、新たなビジネスモデルの創造とビジネスプロセスの変革を目指してまいります。

2. 数値目標（連結ベース）

【修正前】	【修正後】
(2022年度) 売上高 190 億円 営業利益 14 億円	(2022年度) 売上高 205 億円 営業利益 18.5 億円
追加	(2023年度) 売上高 215 億円 営業利益 21.5 億円
追加	(2024年度) 売上高 230 億円 営業利益 25.3 億円

(修正理由)

2021年8月6日発表の2021年度連結業績予想は、「売上高 187 億円・営業利益 16.5 億円」と、営業利益予想が2022年度【修正前】数値目標の14億円を上回り、1年前倒しで達成の見込みとなったことから、数値目標を上方修正します。また、現時点の2023年度および2024年度の数値目標を参考値として開示します。

3. 重点戦略

【修正前】	【修正後】
① 工場の自動化・省人化・IoT・AI推進と営業・間接部門のデジタル化 ✓ 「コスト低減 ⇄ 生産性向上 ⇄ 人員減少 ⇄ 技能伝承」のバランスを考慮しつつ、IoT・AIなどデジタル技術導入により、製造工程の自動化・省人化を進める。 ✓ 「スピード、タイムリー」を念頭に、各種 IT ツールを活用した生産性向上と業務効率化を実現させ、「働き方改革」「労働力不足」といった課題にも対応する。	修正なし
② <u>タイリング事業（摩擦を低減させる技術を活用した新規事業）</u> ✓ <u>ユーザーでの基礎検証あるいは実機検証を積極的に実施し、事業化のスピードアップ。</u>	削除（※1）
③ 新技術・新製品開発 ✓ SDGsを見据えた、顧客の「省エネ・長寿命・歩留まり向上・不良率削減・高能率加工による生産性向上」に寄与する新技術・新製品開発。	内容追加（※2）
④ 製造4拠点（日本・中国・インドネシア・ベトナム）の生産分業 ✓ 稼働が本格化したベトナム生産子会社の能力増強など、世界最適生産分業の確立。	内容追加（※3）
⑤ 人財戦略 ✓ デジタル技術を使いこなせる人財・グローバル人財・次世代リーダーの育成や、ダイバーシティを意識した環境整備。	修正なし

(※1) タイリング技術の早期事業化を目指し取り組んでまいりましたが、現時点で事業化の見通しが立たないことから、タイリング室を研究開発部に吸収し、基礎研究に重点を置くこととします。

(※2) 新技術・新製品開発のみならず、SDGs達成に寄与するため、営業・製造・開発・管理のすべての部門において、重要課題と目標の設定、およびアクションプランの策定・実行を目指します。

(※3) **ものづくりのエッセンシャルカンパニー**として、供給責任を遅滞なく果たすべく、ベトナム生産工場を中心に能力増強の加速化を図ります。

以上